

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- *いじめは絶対に許されないという認識を徹底する。
- *いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- *PTA・地域・関係機関と共にいじめ防止や対応に取り組む。
- *いじめの無い思いやりあふれる学校づくりに取り組む。
- *児童一人一人が自己肯定感をもって生活できる支援体制をつくる。

【未然防止】

- *「褒める」「認める」「励ます」ことを大切にして、児童一人一人の自己存在感を高めていく。
- *「ピア・サポート活動」「人間関係づくりプログラム」を意図的・計画的に推進していく。
- *学校全体で一人一人の子どもの成長を見守り、全教職員の共通理解の下に指導・支援していく。
- *子どもの「楽しさ」「自己存在感」に繋がる「分かる授業」を目指していく。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・「学校が楽しい」と答えた児童・保護者が100%を達成した。家庭・地域・学校が連携し、一人一人の子どもを見て、支援することができた。

【早期発見】

- *子どもが教師に安心して話せる信頼関係づくりに努める。
- *いじめを大人に伝えることが正しい行為であるという認識をもたせる。
- *いじめ発見のための「学校生活アンケート」を学期ごとに実施する。
- *学校は、保護者・地域の声や訴えに丁寧に対応し、情報収集に努める。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・担任だけでなく、全職員で一人一人の子どもの様子をチェックするように心がけた。そして、何か少しでも変化を感じたら、すぐに相談するようにした。

【早期対応】

- *いじめを発見したら、全職員で情報を共有し、役割分担を明確にして組織で対応する。
- *いじめを発見したら、該当児童からの聞き取り報告等を行う。
- *いじめを発見したら、保護者との連絡を密にとることで連携を図り、対応する。
- *いじめを発見したら、必要に応じてスクールカウンセラー等の関係機関にも相談をかける。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・報告・連絡・相談を心がけ、教師間同士はもちろん、保護者とも連絡を密に取るように心がけた。また、常に子どもとのコミュニケーションを大切にした。

【PTAや地域との連携】

- *「学校だより」等を通して、保護者・地域へ情報発信をしていく。
- *子どもたちを地域の行事等に積極的に参加させ、地域と共に育てていく。
- *地域素材を活用した活動や学習を計画的に実施していく。
- *PTAや地域から届いた情報を大切に、児童理解につなげる。

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- *道徳の時間を通して、「言葉」について考えさせる。
- *学級活動等で学級集団の中の異質なものを排除しないで個性を認める土壌をつくる。
- *「人間関係づくりプログラム」等で、相手の気持ちを考える学習を行う。
- *「温かな心を実感する」を全ての学校活動の中で意識させる。

【いじめ対策委員会】

- 委員長 校長 鈴木義広
- 副委員長 教頭 本杉速人
- 委員 教諭 青島 智 (生徒指導主任)
- 小長谷知美 (教務主任)
- 栗原敏史 飯田由美子
- 村松聡子 石橋弘樹
- 天野晶子
- 臨時養護教諭 河井ひとみ

【職員研修・指導体制】

- *職員会議・研修の時間を使い、日頃から、学級の様子や配慮児童についての情報共有を行う。
- 【取組等の点検】
- *いじめを発見したら、校長・教頭・生徒指導主任にすぐに報告し、ケース会議を開いたり、対応チームを組織したりする。
- *職員研修で「いじめ対応の方法」について共通理解と確認を行う。

【関係機関との連携】

- 関係機関との連携は学校長の判断により、教頭が窓口となる。
- 【心の相談】スクールカウンセラー-高田多津子
- 【子育て】藤枝市子ども発達支援センター
- Tel 667-3988